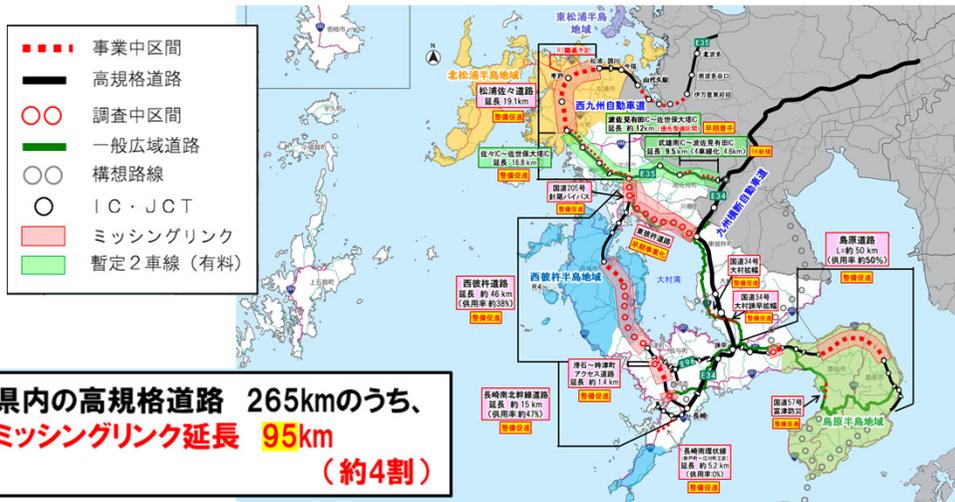
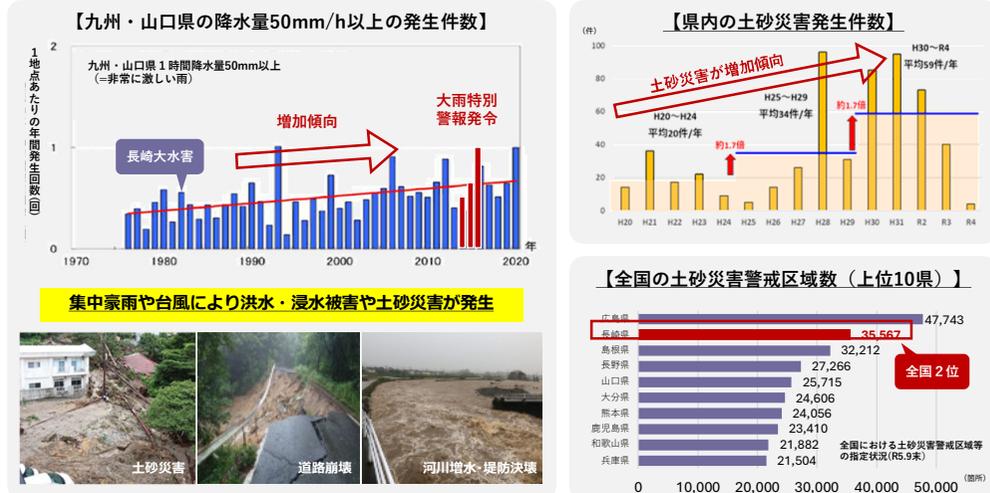


長崎県のインフラ整備や災害対応、老朽化対策に建設産業の存在は重要！！

課題 県内のインフラ整備は道半ば



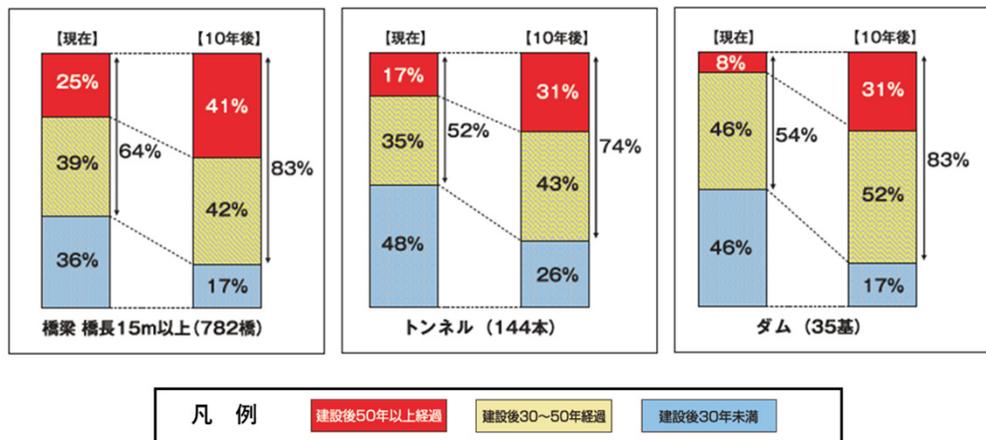
課題 激甚化・頻発化する自然災害への対応



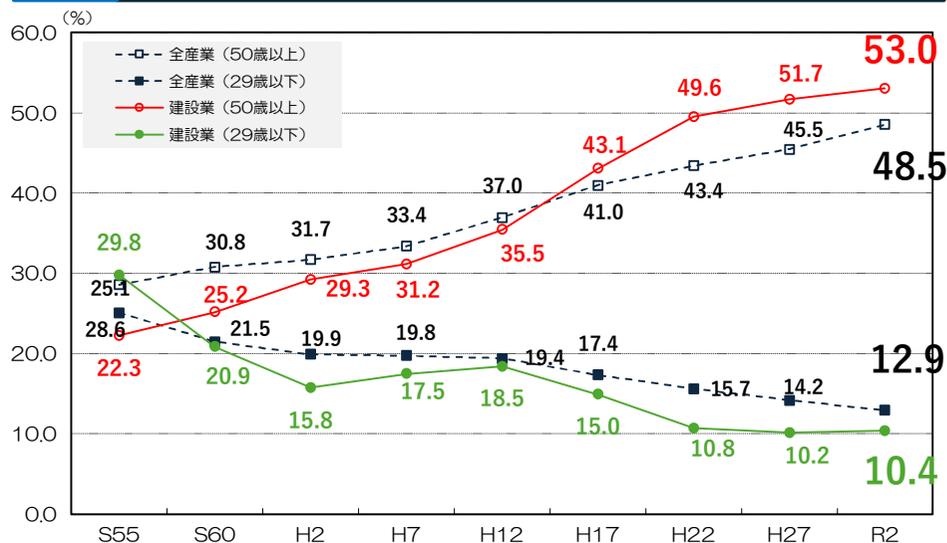
課題 限られた財源の中で、インフラ機能を維持

橋梁・トンネル・ダムに関する

『現在』と『10年後』の建設経過年の比較



課題 県内建設業の担い手確保



▶ これまで、ICT/DXの取組は官民がそれぞれ取り組んできましたが、官民一体となってDXを進めていくために、建設産業の目指す姿や重点的に取り組む事項を示した「長崎県インフラDXアクションプラン」を策定しました。

『長崎県におけるインフラDXの2つの柱』

従来手法 ■ DX手法

インフラ分野のDX

調査等、施工及び維持管理等の建設生産プロセスの各段階において地域の実情を踏まえ、品質確保しつつ生産性の向上が図られるように配慮し、ICT技術の活用等を通じてDXを推進します。将来的には各建設生産プロセスで生成されるデータを相互に利活用・連携し、データによってつながるような体制の構築を目指します。



災害対応におけるDX

平常時より災害に備え、被災を軽減する方策を準備し、発災時には初動対応を迅速に行い、情報収集及び被害軽減に努めるとともに、早急な復旧を行うため、DXを推進します。



【災害対応におけるDXの取組】

AI予測・被害想定・早期避難・無人点検・遠隔管理・遠隔施工等

- ▶ 発災時に迅速な対応を行うため、平常時よりICT技術を活用し、習熟に努める。
- ▶ 災害時の被災把握のため、日頃よりインフラ施設データの蓄積を行う。

★当面は技術や取組が確立しているものを、官民連携の上で試行的に取り入れ、拡大させていく

取組んでいく主要なDX事業（重点項目）

①-1. ICT施工の普及

- 概要**
- ▶ 目的：工事現場の効率化を推進し、生産性を向上させるため、県内企業へICT施工の普及を図る。
 - ▶ 実施内容：ICT活用工事に関する勉強会や工種の拡大などを実施する。

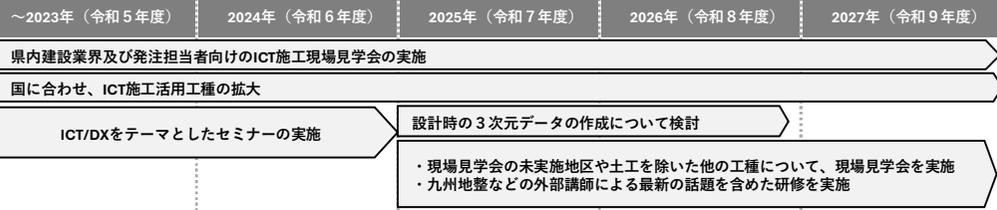
Before（現状）

After（効果）

ICT施工を行うための知識が県内業者及び発注担当者共に十分ではなく、ICT活用工事を行うことができる県内企業は限定的であり、業界全体に普及していない。



ICT活用工事の普及は、現場での省力化・効率化を図り、生産性を向上させ、『作業時間の縮減』し、週休2日など労働環境の改善に繋がる。



①-2. 工事及び業務に関する情報共有システムの活用推進

- 概要**
- ▶ 目的：これまで紙資料による手続きを行ってきたが、資料の印刷などの作業時間やペーパーレス化による経費などを削減し、受発注者の負担を軽減するため、データにてやり取りを行う情報共有システムの普及を図る。
 - ▶ 実施内容：操作研修や利用指定工事の拡大、市町への説明などを実施する。

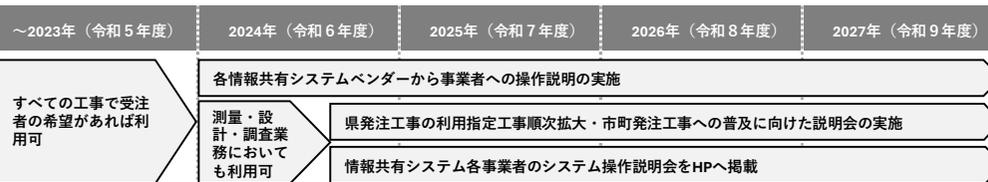
Before（現状）

After（効果）

受注者は、発注機関まで打合せ簿を持参しており、移動時間や現場調整に時間を要する。また、受発注者ともに紙による資料整理に時間を要する。



受注者は情報共有システムを活用することで、発注機関まで書類の持参が不要になり、電子上での決裁が可能となることから、印刷などが不要となる。



②-1. デジタル技術を活用した災害査定

- 概要**
- ▶ 目的：災害復旧事業の迅速化、効率化を目指す。長崎県版デジタル技術を活用した災害査定マニュアル作成し、R6年度以降活用開始。先進的な事例収集を基に効果が高いものについて、導入を進める。
 - ▶ 実施内容：デジタル技術を活用した災害査定に必要な環境整備を実施。

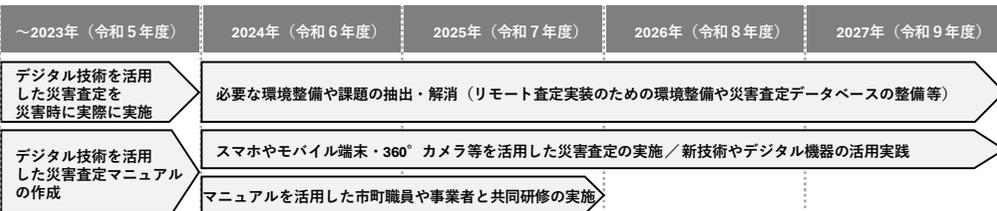
Before（現状）

After（効果）

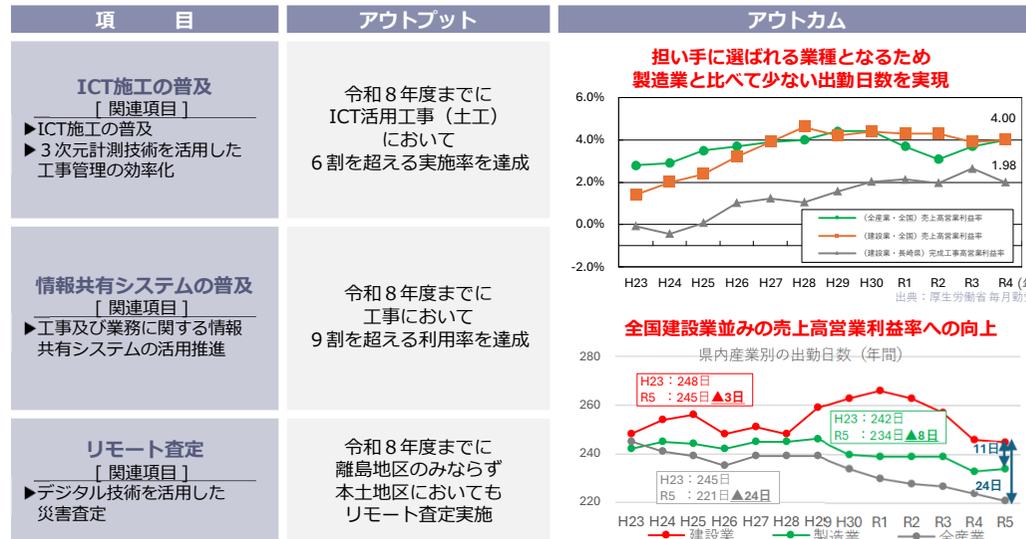
長崎県では、災害査定においてデジタル技術を活用した事例が少ない。



災害復旧業務の迅速かつ効率的に実施により、早期復旧が可能になる。



重点項目KPI（重要業績評価指標）



現時点では、各項目において課題がある中で、インフラ分野におけるDX実装に向けて、取り組んでまいります。

今後の社会情勢の変化や、技術開発の進展を踏まえ、アクションプランの項目の修正・追加を実施し、**「県民の安心・安全で豊かな生活」の実現**に向けて、できるところから失敗を恐れず積極的にチャレンジしていきます。

CONTACT

担当：長崎県 土木部 建設企画課 インフラDX推進班

TEL：095-894-3028

本アクションプランやインフラDXに関するお問い合わせはこちらからも受け付けています

